

---

# 「夜間可視衛星画像が捉えた日本海におけるスルメイカ漁船分布の動態」

北海道大学大学院水産科学研究科

科学研究支援員 清藤秀理

---

## <講演概要>

イカ類、特にアカイカ科に属するスルメイカ (*Todarodes pacificus*) は、日本に限らず、世界中の蛋白資源として重要な水産資源であり、その資源変動は大きい。1998年に日本のTAC (Total Allowable Catch: 漁獲可能量) 対象種に選定され、より精度の高い資源評価と漁業管理が求められるようになった。スルメイカ漁業の特徴の一つは、照明を用いた漁法があげられる。この灯りは、夜間可視衛星画像からも確認されており、これと海洋環境との比較により、時空間的なスルメイカ漁場形成や、資源の動態を明らかにすることは可能と判断される。そこで本研究では、主に人工衛星による夜間可視衛星画像データを用いて、日本海におけるスルメイカの索餌・産卵回遊経路について調べた。

---